

なぜ、エジプトを「ミツライム」と言うのか

מִצְרַיִם

●「エジプト」のことを、ヘブル語では「ミツライム」(מִצְרַיִם)と言います。これは「苦惱」を意味する「メーツァル」(מֵצַר)の複数形です。この複数形は何かを強調していると考えられます。語源の動詞は「ツァーラル」(צָר)で「苦しめる、圧迫する、包む、束ねる、狭い、敵視する」を意味します。初出箇所(創世記 32 章 7 節)では、ヤコブがエサウと再会することですべてのもの奪われるという「不安な」状態を示しています。「苦しむ、心配する、思い悩む」と訳されています。

●イスラエルの民にとって、エジプトはまさらそのような所でした。彼らはアブラハムの子、イツクの子、ヤコブの子らでありながら、彼らに与えられた神の約束が見失われ、エジプトのナイル下流地域でイスラエル人が住んだ「ゴシェン」(「ゴーシェン」|גֹּשֶׁן)という狭い場所に閉じ込められ、奴隷として、圧迫されて、苦しめられていました。それはまさに暗闇の中に閉じ込められた状態です。

●しかしそのことはアブラハムに預言されていました。

【新改訳 2017】創世記 15 章 13～14 節

13 主はアブラムに言われた。「あなたは、このことをよく知っておきなさい。**あなたの子孫は、自分たちのものでない地で寄留者となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。**

14 **しかし、彼らが奴隷として仕えるその国を、わたしはさばく。**その後、彼らは多くの財産とともに、そこから出て来る。

●モーセに対しても次のように語られます。

【新改訳 2017】出エジプト記 6 章 4～8 節

4 わたしはまた、カナンの地、彼らがとどまった寄留の地を彼らに与えるという契約を彼らと立てた。

5 今わたしは、エジプトが奴隷として仕えさせているイスラエルの子らの嘆きを聞き、わたしの契約を思い起こした。

6 それゆえ、イスラエルの子らに言え。『わたしは【主】である。**わたしはあなたがたをエジプトの苦役から導き出す。あなたがたを重い労働から救い出し、伸ばされた腕と大いなるさばきによって贖う。**

7 わたしはあなたがたを取ってわたしの民とし、わたしはあなたがたの神となる。あなたがたは、わたしがあなたがたの神、【主】であり、**あなたがたをエジプトでの苦役から導き出す者であることを知る。**

8 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓ったその地にあなたがたを連れて行き、そこをあなたがたの所有地として与える。わたしは【主】である。』

【新改訳 2017】出 34:10

主は言われた。「今ここで、わたしは契約を結ぼう。わたしは、あなたの民がみないところで、地のどこにおいても、また、どの国においても、かつてなされた(נִגְזַל)ことがない奇しいことを行う。あなたがそのただ中にいるこの民はみな、【主】のわざを見る。わたしがあなたとともに行うことは恐るべきことである。

●「地のどこにおいても、また、どの国においても、かつてなされた(נִגְזַל)ことがない奇しいことを行う」とは、「見よ、わたしは、アモリ人、カナン人、ヒッタイト人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人を、あなたの前から追い払う」という神のみわざです。